

## 予防接種記録の保存期間延長について

新田健康福祉部長答弁

花田質問：予防接種法施行令では予防接種台帳の保存は5年間である。接種から5年を経過すると接種を証明する公的資料がなくなる可能性があるため、予防接種台帳や予診票の保存期間の延長が必要必要ではないか。

答弁：紙媒体の予診票は保管場所に限りがあるため5年保存としているが、予防接種台帳のデータは市民の利益につながる観点から、5年では直ちに破棄しない。

花田要望：保存期間を10年や30年に延長した市もある。予診票は接種当日の症状や熱などが記録されているため、データ化して保存するよう要望する。

## アレルギー疾患の対策等について

新田健康福祉部長  
谷危機管理室長  
寺下教育監答弁

花田質問：①市民へのアレルギー疾患に関する正しい知識の啓発について、②災害時の食物アレルギーに配慮した炊き出しについて、③学校でのエピペンの取扱いについて。

答弁：①本市は早期からアレルギーの重症化予防に努めてきた。他の自治体が取り組んでいない重症化予防にも努め、国の研究等にも協力している。②災害対策用の備蓄食料を食物アレルギー対応としており、炊き出し訓練などを通じて、食物アレルギー対応への配慮を周知・啓発する。③食物アレルギーを有する児童生徒には、各種ガイドラインに基づき対応している。全教職員で緊急時のエピペン使用や、連絡体制についても研修を実施している。

花田要望：①ホームページでは、市が取り組んでいるアレルギー疾患の重症化予防が広く周知できていない。アレルギーの悩みを持った保護者にとって市の対応は大きな関心事であるため、情報提供に努めるよう要望する。②避難所の運営マニュアルに、食物アレルギー対応への配慮の追記と特定原材料がわかる資料の添付を求める。③食物依存性運動誘発アナフィラキシーにも注意してほしい。

都市ブランディングとして顕在する魅力を市民に発信するため、本市のアレルギーへの取組の総合的な紹介ページを作成し、「アレルギーっ子が安心して暮らせるまち」大阪狭山市をめざしてほしい。



## ○ 質問によって対応されたもの ○

- ・非常災害時における学校の対応の文書がイラストを交え、わかりやすくなりました。
- ・被害が多い鳥獣の対応について、新しくホームページが作成され周知啓発されました。
- ・脱着不可能な小型充電式電池内蔵機器については早期に分別回収を実施し、次年度のパンフレットには取扱いについても新たに記載する事となり、広報誌やホームページ等で周知が行なわれました。

## ☆ 毎朝の見守り活動が1500日を超えました ☆

2015年5月から開始した毎朝の見守り活動が、2022年12月15日で1500日を迎えました。

年間約200日7年半の活動ですが、児童が元気に挨拶して登校してくれるようになり、私の名前も覚えてくれました。自転車で通学する学生や通勤される方々もご挨拶をいただけるようになり、毎朝の見守り活動と凡事徹底の大切さを実感しています。



通学路の変更で友人とともに始めた朝の見守り活動ですが、元北小学校PTA会長やPTA東野地区委員の方々、地域の皆様のご協力も賜り、多くの方が活動していただいています。ありがとうございます。最後になりますが、従前より見守り活動を行っていただいている皆様に、重ねてお礼申し上げます。

## 令和4年12月議会 個人質問

すべては、  
大阪狭山の未来のために。



大阪狭山市議会議員 / 無所属

# 花田 まさふみ

活動報告 第5号

総務文教常任委員会  
副委員長・委員長 歴任  
予算決算常任委員会副委員長  
建築士、防災士、  
大阪府被災建築物応急危険度判定士  
会派「みらい創新」所属

## 御挨拶

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が、1年近くも続くと想像された方は少ないのではないのでしょうか。世界平和は人類共通の願いであり、これ以上多くの尊い人命が奪われることがあってはなりません。

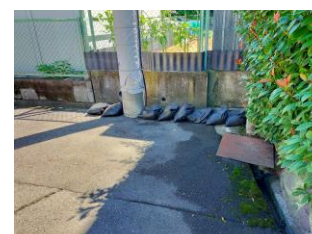
また、長引く侵攻によって、日本経済も大きな打撃を受けており、日常生活においても物価が高騰し家計を直撃しています。いかにして日本国民の生活を守っていくのか、政府の今後の対応を注視していかなければなりません。

一方、新型コロナウイルス感染症拡大の懸念が続いています。亡くなられた方へ謹んでご冥福をお祈りするとともに、ご遺族の方々には心よりお悔やみ申し上げます。

全国的な少子高齢化が急速に進む中、本市も例外なく地域活性化策の必要性和公共施設の老朽化にともなう再配置の問題、大規模災害への防災・減災対策など、地域活動の経験や専門的知識が必要となっており、今までの経験や知識を生かして市政に反映させるよう、これからも精一杯取り組んでまいります。

さて、大阪狭山市議会議員の任期は2023年4月30日までとなっており、残すところあとわずかとなりました。皆様に付託いただきました議員として仕事を全うするため、精一杯任期まで頑張っております。

これからも「すべては、大阪狭山の未来のために。」誠実に！熱く！まっすぐに！尽力してまいります。



## 所属会派・委員会・審議会

○所属会派「みらい創新」 ○予算決算常任委員会副委員長 ○建設厚生常任委員会委員 ○議会広報委員会委員 ○都市計画審議会委員 ○ラブホテル建築規制審議会委員 ○パチンコ遊技場等及びゲームセンター建築規制審議会委員



## 都市ブランディングについて

楠都市整備部長答弁

花田質問：行政・民間事業者・市民の連携体制の構築を図るエリアマネジメントと、シビックプライドの醸成をめざす共創型の都市ブランディングについて、本市の見解を伺う。

答弁：水とみどりの空間及びそこでの取組が人々の日常の一部となることで、その場所に愛着を持ち、参加することでシビックプライドが醸成され、都市のブランドは定着してくると思っている。これは、議員提案の理念と一致する。継続的に一緒にまちづくり、人づくりができるエリアマネジメント体制を築いていく。

花田要望：全庁横断的な都市ブランド戦略策定プロジェクトチームの立ち上げを要望する。

## バリアフリー改修の支援について

新田健康福祉部長答弁

花田質問：令和2年12月定例会議会でも質問したが、バリアフリー化が遅れている小規模店舗への支援について伺う。

答弁：国のバリアフリー環境整備促進事業が本年4月に拡充され、支援の対象となるが、大阪府の補助制度の創設が未定であるため、大阪府に対し創設を働きかけていく。

花田要望：根気よく働きかけ、補助制度が創設された際には、早急に支援を行うよう要望する。

## がん検診の無償化について

新田健康福祉部長答弁

答弁：2021年度は全体の受診者数が回復した。がん検診の無償化は、現時点では考えていない。

花田要望：各がん検診の受診者数にばらつきがあり、胃がん検診は他の検診に比べ明らかに少ない。がん検診の効率的な無償化により、受診者数の増加に繋がると考える。

## ふるさと納税へのNFT（非代替性トークン）の活用について

古頃政策推進部長答弁

花田質問：本市のふるさと納税の返礼品にNFTを活用することについて、本市の見解を伺う。

答弁：活用が広がる可能性があるが、現時点では課題も多く、慎重な対応が求められる。

花田要望：すでに活用している自治体もある。市内のおすすめスポットと特命大使をコラボしたNFTアートの作製を企画してはどうか。

## 令和4年6月議会 個人質問



本活動報告は政務活動費を使用していません。

## 令和4年9月議会 個人質問

## 非常災害時における学校の対応について

寺下教育監答弁

花田質問：見守り隊の方へ非常災害時の対応の周知、雷発生時の保護者・見守り隊の方への対応、台風によらない大雨警報発表中の児童・生徒の登下校の安全について。

答弁：天候急変時や非常災害時に、一斉に連絡できる体制は今のところない。学校に関する情報は、各校のホームページに掲載しているが、周知が十分でないことは課題である。より確実な周知方法を研究するとともに、コミュニティ・スクールを活用したそれぞれの校区の見守り隊の全体把握や連絡体制の構築などを検討する。登下校の安全については、自らの命を自らで守り抜くために必要な知識や行動について、子どもたちの発達段階に応じた安全教育を継続実施する。

花田要望：非常災害時における学校の対応の文書が文字ばかりであり、イラストを交えた分かりやすいものとなるよう要望する。



## 有害鳥獣の捕獲について

楠都市整備部長答弁

花田質問：有害鳥獣の捕獲に当たっての注意点と市民への周知について。

答弁：本市で被害が多い鳥獣の対応について、ホームページ等で周知啓発していくとともに、市民に分かりやすい組織体制についても検討していく。

## ごみの分け方と出し方について

山本市民生活部長答弁

花田質問：モバイルバッテリー、加熱式・電子たばこなどはごみシールとともに配布するパンフレットに出し方の案内がなく、可燃ごみや粗大ごみとして出されることがある。ごみの分け方と出し方の見直しについて。

答弁：モバイルバッテリーやコードレス掃除機等の脱着不可能な小型充電式電池内蔵機器については、分別回収を実施する。次年度のパンフレットを見直し、取扱いについても新たに記載し、広報誌やホームページ等での周知に努める。

花田要望：脱着可能な小型充電式電池は見直し後も拠点回収のままであり、分別回収とするよう要望する。

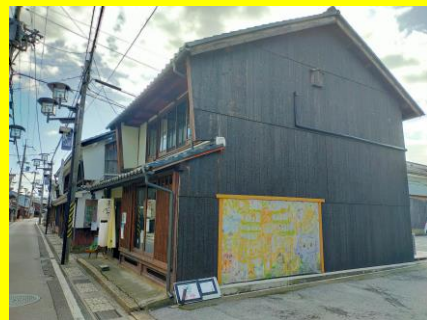


## 犬猫のマイクロチップについて

山本市民生活部長答弁

花田質問：繁殖・販売業者にマイクロチップの装着を義務づける、改正動物愛護法が施行された。施行前から飼われている犬猫への普及について。

答弁：法施行前で努力義務となっている犬や猫に対するマイクロチップ装着の利点、装着・登録の手順など、広報誌やホームページなどで広く周知していく。



彦根にある古民家を改造した子ども食堂



佐賀県武雄市の武雄市図書館  
TSUTAYAの経営母体が指定管理者となっている



図書館にカフェが併設されている



自治体・公共 Week 研修



長崎市で開催された  
全国都市問題会議研修



河内長野市の電動カート利用  
による健康維持の効果検証

### ●プロフィール

花田全史(はなだ まさふみ) 1971年10月生まれ  
府立東百舌鳥高等学校、大阪工業技術専門学校 卒業  
建築士、防災士、大阪府被災建築物応急危険度判定士  
会派「みらい創新」所属

### ●情報発信

Facebook 花田まさふみ事務所 @HanadaMasafumi  
Facebook 花田まさふみ @MasafumiHanada1971  
Twitter 花田まさふみ @H\_Masafumi  
HP <http://hanada-sayama.wixsite.com/home>



### ●お気軽にどうぞ！

日頃の困りごと、市政への疑問や不満など、なんでもご相談ください。  
電話 072-368-1153 Eメール [hanada@osaka.nifty.jp](mailto:hanada@osaka.nifty.jp)  
〒589-0002 東野中2丁目1056-12  
発行元：大阪狭山市議会議員 花田全史 / 企画・編集・デザイン：花田全史

